

THE HIBARIGAOKA GAKUEN PROSPECTUS



雲雀丘学園高等学校

〒665-0805 兵庫県宝塚市雲雀丘4丁目2-1 tel.072-759-1300 fax.072-755-4610

雲雀丘学園中学校

〒665-0805 兵庫県宝塚市雲雀丘4丁目2-1 tel.072-759-1300 fax.072-755-4610

雲雀丘学園小学校

〒665-0805 兵庫県宝塚市雲雀丘4丁目2-1 tel.072-759-3080 fax.072-759-4427

雲雀丘学園幼稚園

〒665-0805 兵庫県宝塚市雲雀丘4丁目1-3 tel.072-759-7419 fax.072-759-7292

雲雀丘学園中山台幼稚園

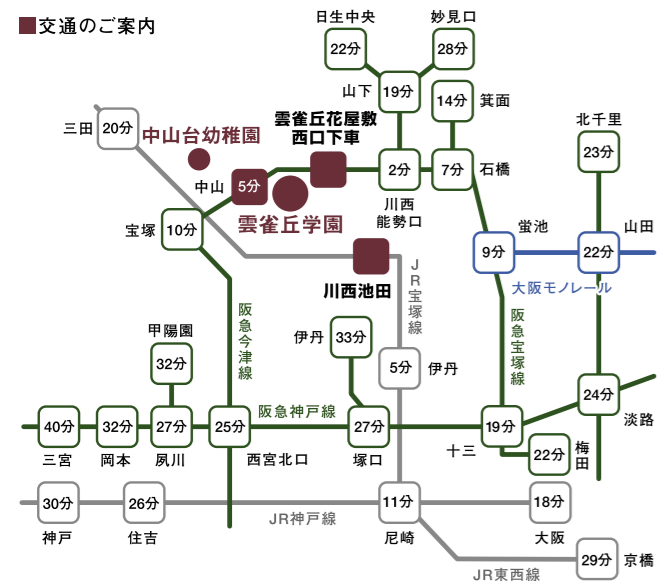
〒665-0877 兵庫県宝塚市中山台1丁目1-1 tel.0797-89-1151 fax.0797-89-6758

雲雀丘学園事務局

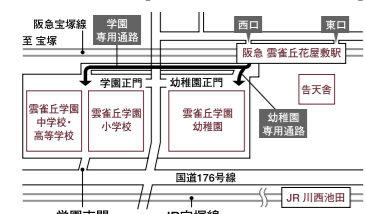
〒665-0805 兵庫県宝塚市雲雀丘4丁目2-1 tel.072-759-3000 fax.072-759-5722

<http://www.hibari.jp/ho/>

交通のご案内



雲雀丘学園【中学校・小学校・幼稚園】



- 阪急宝塚線「雲雀丘花屋敷」西口→(徒歩:3分)
 - JR宝塚線「川西池田」下車→(徒歩:12分)
- 雲雀丘学園【中山台幼稚園】
- 阪急宝塚線「中山台」下車→(徒歩:2分)
 - 北口から阪急バス「中山台2丁目」下車→(徒歩:2分)
 - 南口から阪急バス「センター前」下車→(徒歩:3分)

雲雀丘学園【中山台幼稚園】



このパンフレットは再生紙を使用しています。



学校法人 雲雀丘学園 総合案内

雲雀丘学園から、 世界へ羽ばたく。

雲雀丘学園は創立以来、「孝道」を基本理念とし、

幼稚園から小学校、中学校、そして高等学校まで、一貫した教育体制を誇る総合学園として歩んできました。

学園創始の基本理念は今も脈々と受け継がれ、園児・児童・生徒一人ひとりの夢を大きく育て、

その実現へと導くきめ細かな人間教育を実践。

これからも雲雀丘学園は、地域に根ざした教育機関として地域社会に貢献していくとともに、

社会的信頼に応える教育環境を実現するための学園改革を積極的に推進し、

新しい時代を切りひらき世界へ羽ばたいてゆく人材の育成をめざしてまいります。

HIBARIGAOKAGAKUEN

学校法人 雲雀丘学園

雲雀丘学園は、幼稚園から小学校、中学校、高等学校まで、約2600名が学ぶ男女共学の総合学園です。

雲雀丘学園高等学校

雲雀丘学園中学校

雲雀丘学園小学校

雲雀丘学園幼稚園

雲雀丘学園中山台幼稚園

創立60周年を超え今も息づく 雲雀丘学園の佳き伝統。

学校法人雲雀丘学園は、1950年（昭和25年）に地域の有志によって創設され、2010年に創立60周年を迎えました。

雲雀丘学園の創立の精神は、初代理事長・鳥井信治郎が小学校の児童に語った言葉
「親孝行の人はどんなことでも立派にできます」より、「孝道」を根本義にしています。

創立の精神

孝道を人間の根本義と考え
社会のために尽くす精神を最も尊重し
よりよい社会国家を生み出すべく
心を素直にもち
すべてに感謝の念を捧げ
健康な体力とたくましい実践力をもつ
強い人間を創ることを念願としています

学園の沿革

雲雀丘一帯は、古くからの住宅地でありながら教育機関に恵まれず、教養・文化の高い居住者達の間、この地にふさわしい学園を要望する声が高まっていました。昭和24年に至り、この地域の住民、財界、教育界の有志により、社会奉仕の目的のもとに学園創立の委員会が生まれました。初代理事長・鳥井信治郎を委員長として、同年4月に小学校を開校、翌25年8月に学校法人雲雀丘学園設立の認可を得て幼稚園を併設しました。昭和28年4月に中学校を開校し、31年には学園の一貫教育を目的として高等学校を設置。さらに、50年4月には中山台幼稚園を開校して現在のような総合学園となりました。



初代理事長
鳥井 信治郎
(サントリー創業者)

●学園の歴史

- | | |
|--|---|
| <p>1949 昭和24年
地元有志により雲雀丘小学校創立委員会が設置され、川辺郡西谷村立西谷小学校雲雀丘分校として開校（小学校第1回入学式36名入学）</p> <p>1950 昭和25年
新年度編成 小学校1年2クラス、2・3・4年各1クラス 児童数171名
学校法人雲雀丘学園の設立ならびに小学校・幼稚園の設置認可
初代理事長 鳥井信治郎 就任
学園長兼小学校長・幼稚園長 土井信男 就任</p> <p>1951 昭和26年
学園機関紙「ひばり」創刊号発刊</p> <p>1952 昭和28年
雲雀丘学園中学校設置認可・開校（初代校長 板倉操平 就任）
男女各1クラス（男子29名・女子21名）</p> <p>1954 昭和29年
中学校舎完成</p> <p>1956 昭和31年
高等学校設置認可・開校（初代校長 板倉操平 兼任）
男女各1クラス（男子55名・女子24名 計79名）</p> <p>1958 昭和33年
学園歌制定（竹中郁氏作詞・清水修氏作曲）
学園講堂・小学校高学年棟完成</p> <p>1959 昭和34年
学園同窓会発足</p> <p>1960 昭和35年
学園グラウンド竣工</p> <p>1962 昭和37年
第2代理事長 佐治敬三 就任</p> <p>1963 昭和39年
阪急宝塚線 雲雀丘花屋敷駅より学園専用改札口、専用通学道路新設
学園グラウンドに野球場・テニスコート完成</p> <p>1966 昭和41年
幼稚園3年保育開始</p> <p>1971 昭和46年
中学校体育館・中学校大プール（50m）完成</p> <p>1973 昭和48年
文化館（共用館）完成</p> <p>1974 昭和49年
中学校特別教室棟及び小学校特別教室棟完成</p> | <p>1975 昭和50年
蒸気機関車C56111設置
雲雀丘学園中山台幼稚園設置認可・開園（園児48名・職員4名）
（初代雲雀丘学園中山台幼稚園長 土井信男 兼任）</p> <p>1979 昭和54年
小学校低学年校舎完成</p> <p>1984 昭和59年
高等学校国際科設置認可</p> <p>1985 昭和60年
中学校東館完成</p> <p>1989 平成元年
中学校中央棟完成</p> <p>1990 平成2年
小学校体育館プール・幼稚園プール完成</p> <p>1995 平成7年
中山台幼稚園通園バス運行開始</p> <p>1999 平成11年
創立50周年記念建築として各施設完成（中学校西館、小学校中央棟、雲雀丘学園幼稚園舎、学園講堂）
第3代理事長 鳥井信一郎 就任</p> <p>2000 平成12年
両幼稚園 預かり保育開始</p> <p>2001 平成13年
創立50周年記念建築として「告天舎」完成</p> <p>2002 平成14年
第4代理事長 鳥井信吾 就任
中山台幼稚園新園舎完成</p> <p>2005 平成17年
専用通路に自動改札機が設置され、園児・児童・生徒は登校園・下校降園時とも利用可能に</p> <p>2007 平成19年
高等学校に新コース制導入（選抜特進・特進Ⅱ・特進Ⅰ）</p> <p>2008 平成20年
中学校に新コース制導入（一貫選抜・発展）
耐震補強工事を実施</p> <p>2010 平成22年
高等学校新校舎完成
小学校運動場拡幅工事を実施</p> |
|--|---|

21世紀にふさわしい 雲雀丘学園をめざして。

時代の変化と共に、社会が私学に求める姿も大きく変化しています。

雲雀丘学園は「孝道」を基本理念に、時代や社会の要請をふまえつつ、さまざまな学園改革を推進。

「人間教育の充実」と「学力の向上」の両立をめざし、私学ならではの特色ある独自の教育を実践してまいります。

理事長のあいさつ

雲雀丘学園の所在地、兵庫県宝塚市雲雀丘は、長尾山の麓、自然に囲まれた旧からの景勝の地です。

半世紀以上もの間、この地で静かに健やかに、そしてたくましく「雲雀丘の養育」が実践されてきました。

「雲雀丘学園の良いところは何か？」と聞くと、誰もが学園の持っている「雰囲気の良い」と答えます。それは、時代に流されない、悠々として確固たる「良さ」であります。初代理事長 鳥井信治郎は「親孝行な人はどんなことでもりっぱにできます」と説き、初代学園長 土井信男は「たくましい実践力、奉仕の精神、礼儀正しさを説き、初代中高等学校長 板倉操平は「燃えさかる火を生徒一人ひとりに点ずる仕事、それを教育という」と説きました。その学園創始の理念は受け継がれ、半世紀以上変わらず学園を照らし続けています。

一方、学園は新しい時代に向けて、迅速に動き始めました。

学園歌に『雲雀丘のこずえは動く』『翼は巡る 世界を巡る』

の言葉がありますが、学園は21世紀の日本を支える「世界的な視野を持ったクリエイティブな人材」を育てようと、新たなチャレンジを始めています。

皆様には、雲雀丘学園の理念と方針をご理解いただき、皆様と共に発展させていく機会のあることを願っています。



理事長
鳥井 信吾

● 学園がめざすもの

学園の基本理念

雲雀丘学園の創立の精神は「孝道」を根本義としています。

雲雀丘学園では創立以来現在にいたるまで、人間性を育てる「孝道」「親孝行」を大切にしています。学園の初代理事長・鳥井信治郎は「親孝行な人はどんなことでもりっぱにできます」が口ぐせでした。親は子の成長を願い、子は親に感謝し尊敬するという、人としての自然なところ、これが基本となり、家庭の輪につながり、社会のために尽くす気持ちが湧き出ると考えています。

学園のビジョン

雲雀丘学園は、「人間教育の充実」と「学力の向上」を両立させた
関西を代表する一流の学園をめざします。

雲雀丘学園は、人間教育の充実と学力の向上の両立を目指していますが、「孝道」を基本とした人間教育を第一に考えています。しかし人間教育に特効薬はありません。「感謝のこころ」「人を思いやるこころ」などを大切にし、「さわやかな挨拶」「きっちりとした服装」「ルール・マナーを守る」という基本的なこと、当たり前のことを徹底しています。

学力の向上は重要なテーマです。一人ひとりの持っている多様な能力や可能性を引き出し、子どもたちが目指す進路の実現に向けて細やかな指導を行っています。また教育の環境の充実・向上をめざし、様々な学校改革に取り組んでいます。

緑に囲まれた豊かな自然環境のもと、一流の教師により一流の生徒を育て、関西を代表する一流の学園をめざしています。

また、子どもの健やかな成長は家庭との連携なくして実現できません。家庭と学校が協力して子どもを育てる「教育は共育」、そして、保護者も教員も子どもと一緒に学ぶという「教育は共学」を標榜しています。

学園の新しい取り組み

人間教育の一環として、「環境教育」を推進します。

現在、私たちのまわりには地球の温暖化をはじめ数々の環境問題が山積しています。環境に配慮することは優しさ、思いやり、感謝のこころにも繋がることになると考え、人間教育の一環として、環境教育に取り組んでいきます。

環境教育を通じて「学ぶ」「考える」「行動する」ことが人間力を鍛えることにもなると考えています。

雲雀丘学園中学校・高等学校

中学校・高等学校の校是

「高志」「自律」「努力」

高い志を持ち、自らを律し、その達成に向けて
たゆまぬ努力を続ける生徒の育成をはかる。



21世紀を迎え、社会のグローバル化が進展する今日、国際社会のリーダーとならん人材を育成することが大きな課題となっています。そうした時代の要請に応えるため、中学校・高等学校とも新コース制を導入しました。自分らしさを伸ばし、大きく成長できる本校独自の学びのシステムが、生徒一人ひとりの潜在能力を引き出し、21世紀の国際社会に通用する人材を育てます。



社会のあらゆる分野でリーダーシップを 発揮できる人材を育成します。

難関大学への現役合格を実現する 新コース制を導入。

雲雀丘学園では国立大学志願者が増加し、それぞれの生徒の目標に対応するとともに、将来の進路選択や大学受験への意識をより高めるため、2007年度よりコースやカリキュラムの大幅な見直しを行ってきました。そして、2011年度にはさらなる飛躍をめざして、「一貫選抜コース」「選抜特進コース」「特進コース」の3つのコースに再編成しました。生徒一人ひとりの学力に応じたきめ細やかな学習プログラムと授業時間数の十分な確保により、志望校現役合格を実現する力を確実に育てます。



一貫選抜コース

中学3年次より高校の先取り学習を行う本学園の中高6年一貫コースに、高校1年入学時より編入するのが「一貫選抜コース」です。東大・京大・阪大や早慶上智などの超難関大学への現役合格をめざします。

選抜特進コース

東大・京大・阪大など、超難関国立大学への現役合格をめざすのが「選抜特進」コースです。1年次からの先取り学習により、早い段階から大学受験を見据えたレベルの高い学力を身につけていきます。

特進コース

京大・阪大・神大。大市大などの国立大学や、関関同立などの難関私立大学をめざすのが「特進コース」です。「選抜特進」と比べて学習進度は異なりますが、センター試験を見据えて5教科をバランス良く学習します。



入学時より進路への意識を高める 独自のプログラムを用意。

将来の進路選択の幅を広げるためのキャリア教育として、学園にさまざまな職業の方を招いて職業体験談を聞く講演会「職業人に学ぶ」を、高1を対象に実施しています。また、全校生を対象に大学の講義を体験できる「1 Day College」を開催。約30の大学が参加して、1教室で1大学が講義を行い、専門的な講義からユニークな実習や実験など、生徒は自分の興味のある講義を受けることができ、大学受験をより身近に感じることのできる機会を設けています。



1 Day College

学びの視野を大きく広げる 高大連携講座を開設。

雲雀丘学園では、専門性の高い分野に興味を持つ意欲的な生徒に、大学の先生の講義を約半年間受講する高大連携講座を実施しています。放課後の時間を利用して通学可能な大阪大学、関西学院大学では、いくつかの講義の中からひとつを選んで、週に一度大学生とともに講義を受けています。また、立命館大学とはインターネットを利用したWeb講座として大学の講義を受けられるようにしています。卒業時には単位として認定しています。



高大連携講座

生徒同士・生徒と先生の交流を深め、 “人間力”を鍛えます。

中学・高校の6年一貫教育により、 学力を確実にステップアップさせます。

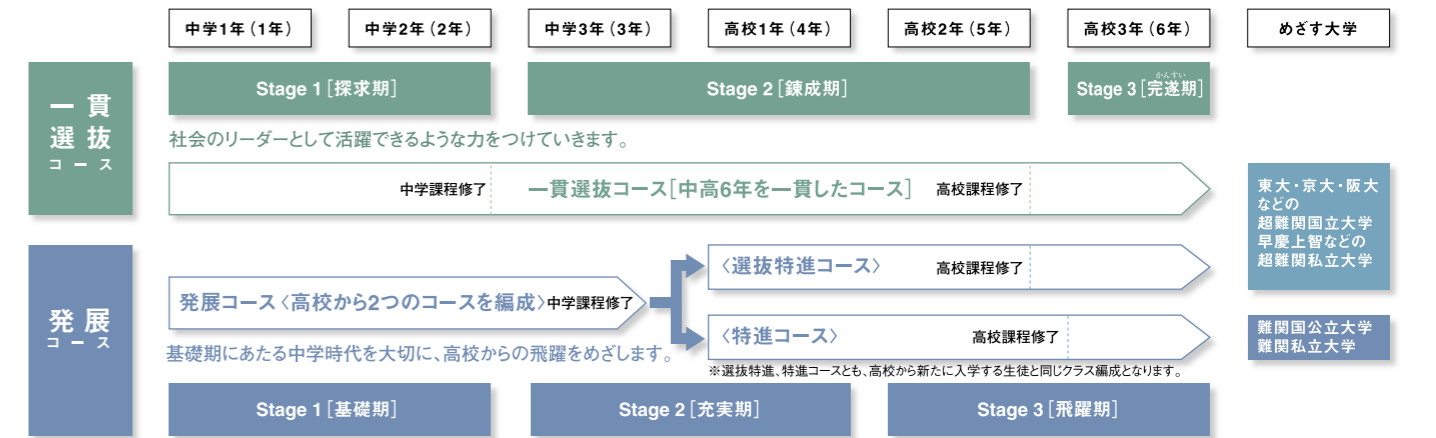
中高6年一貫教育システムの大きな特色は、中学・高校という壁を取り払い、大学進学という目標に向かって効率のよいカリキュラムを組むことができることです。コースは、中高6年を一貫とした「一貫選抜」コースと、高校から2つのコースに編成する「発展」コースの2つのコースを用意。さらに、中高6年を3つのステージに分け、各ステージごとに教科目標を設定して、生徒一人ひとりの学習の進捗や理解度を確認しながら、きめ細やかにサポートする体制をとっています。

一貫選抜コース

中学1年から6年計画で、超難関大学をめざすのが「一貫選抜」コースです。東大・京大・阪大への現役合格を視野に入れ、先取り学習や難度の高い授業内容により、合格のための実戦力を徹底的に鍛えます。

発展コース

中高6年間に有効に活用して、学力の向上をめざすのが「発展」コースです。基礎期にあたる中学時代を大切に、高校からは新たに入学してくる生徒たちと刺激しあいながら学力の伸長を図ります。



さまざまな職業を通して生き方を探る 実践的なキャリア教育の実施。

雲雀丘学園では、生徒一人ひとりが自分の個性や適性をいち早く発見できるように、中学入学時より将来の進路選択を視野に入れたキャリア教育を実施しています。それは、大学進学を最終目的とはとらず、大学卒業後の進路までを含めて長期的な将来設計を立てることを目的としています。中学校の3年間は、職業観指導に重点を置き、「職場訪問」や「職業インタビュー」などの進路育成プログラムを通して、さまざまな職業について学び、将来の「生きる目標」をしっかりと育てます。



職場訪問「テレビ局」

環境教育を通して “人間力”を鍛える環境講座を開設。

新たな教育プログラムとして「環境講座」を実施しています。これは地球環境やエコの問題について興味関心を持って、社会のために地球規模で役立つ人材を育成することを目的としています。2011年度のテーマは“水と環境”。学内で行われる講座の他に、中学2年生は林間学習で訪れる大山で、サンリーの「奥大山ブナの森工場」を見学。中学3年生は研修旅行として沖繩へ出かけ、亜熱帯の地域の水事情を調査し、卒業制作としてレポートにまとめて発表します。



奥大山ブナの森工場

奥大山ブナの森

緑あふれる自然環境と充実の施設が、豊かな感性と知的好奇心を育みます。



高等学校校舎（創立60周年記念施設整備事業／2010年春完成）
普通教室18教室のほか、進路指導室・美術室・演習室（4）・保健室。さらに、科学実験教室（2）、被服・調理・音楽・書道などの各教室が特別教室棟に集められています。



中学・高等学校中央棟
多目的ホール・図書室・食堂などを備えた、中高校の中核となる校舎です。



中学校校舎東館
普通教室8教室のほか、演習教室（5）・P-call教室があります。



中学校校舎西館
普通教室4教室のほか、加工実習室・制御計測実習室・視聴覚教室などがあります。



図書室
本の閲覧はもちろん、自習用の机も設置されており、昼休み時・放課後などに自習室としても利用できます。新刊書や閲覧希望の多い本も揃っており、貸し出ししています。



体育館
体育の授業やクラブ活動にも使用される広々とした体育館。柔道場・剣道場・トレーニング室なども併設。



50mプール
学校のプールとしては珍しい50m×7コースの大プール。

■ 創立60周年記念施設整備事業

太陽光発電



環境問題や省資源に配慮し、発電量を計測しています。高校新校舎5階屋上に太陽光パネルを設置。

屋上緑化



高校新校舎3階屋上に、ヒートアイランド現象対策として屋上緑化を行っています。

グラウンド芝生化



中学・高等学校中央棟前のグラウンドに、自然にやさしい天然芝を採用。



食堂
約270席の食堂は、昼食と放課後時には生徒の憩いの場となっています。パン売り場も併設されています。



P-call教室
生徒用コンピューター48台、教師用2台があります。もちろん、それぞれのコンピューターからインターネットに接続できます。また、LL装置も併置しています。

雲雀丘学園小学校

教育目標

高く、豊かに、たくましく。

豊かな人間づくりを基調とし、個性を伸ばす教育を行うとともに、
どんな苦勞をも乗り越えてたくましく前進し、真に社会に役立つ人材を育成する。

- 1:個性を認め、活かし、正しい判断力と高い学力を身につける
- 2:気品のある、人間性豊かな子どもを育てる
- 3:たくましい心と体を持ち、明るくはつらつとした子どもを育てる

“高く、豊かに、たくましく、育ってほしい…”。雲雀丘学園小学校は、知育・徳育・体育の全ての領域で子どもたちの特性を伸ばし、人として生きる「人間力」を形成することを、本校の教育の不易の根幹としています。雲雀丘の恵まれた自然環境の中で、基礎・基本の学力をしっかりと身につけるとともに、「横並びでない独創性」のある子どもたちを育ててゆきたいと願っています。

個性と創造力を伸ばし、基礎学力をしっかりと身につける初等教育を実践します。

各学年毎に教育目標を設定し、それに合わせたきめ細かな授業を行います。

低学年の学び

1・2年生は、何よりも学校へ行くことを楽しみにするような環境をつくりたいと願っています。遊びやさまざまな体験学習を通して児童一人ひとりの興味や関心を大きく育てていきます。



中学年の学び

3・4年生は、学校生活にも慣れ、学習面で積極性が生まれる時期です。理科や社会では観察や実験、社会見学を多く取り入れ、生きた知識の中から自ら学び、自ら考える意欲を育てていきます。



高学年の学び

5・6年生は、すべての教科の基礎を定着させ、応用力を高めて学力の向上を図ります。また、クラブ活動や縦割り活動を通して自主性や社会性を身につけ、自ら積極的に活動できる力と個性を育てていきます。



スポーツや文化活動を通して、ひとりひとりの個性を伸ばします。



バレエ



放送部



臨海学舎

子どもたちが安心して学べる理想の環境が、ここにあります。



パソコン教室

一人ひとりが、正しい情報を見抜く目と情報活用能力を養うことを目的に利用します。



第一音楽室

“ひびけ歌声”音楽室には、いつも明るい歌声がこだましています。低・中・高学年ごとにそれぞれ音楽室があります。



25mプール

体育館の屋上に25mプールを設置しています。また、高学年は中高の本格的な50mプールでも水泳訓練を行います。



ひばりがおかこども図書館

明るく広いこども図書館では、いつでも本を読んだり調べ学習をしたりできます。



蒸気機関車

本物のC56型蒸気機関車を展示しています。



警備員

児童たちが安心して登下校できるように、正門には警備員が常駐。



オープンスペース

オープンスペースは、学習図書をはじめ、コンピューターやビデオデッキなどを揃えた、学校の情報基地です。子どもたちの興味や関心のもとに、学びの幅を広げる自由な学習スペースとして活用しています。



家庭科室

5・6年生の家庭科は、調理や裁縫の実習を通して、家庭生活の基礎を学びます。



プレイパーク

敷地を有効に活用して、さまざまなアスレチック遊具を設置しています。



天体観測ドーム

本格的な天体観測が行える大型天体望遠鏡を設置しています。



雲雀丘学園幼稚園

教育方針

こんな子どもの実現を目指して。

個性豊かで明るい子ども

友だちと仲良くできる優しい子ども

ちょっとした困難にくじけない健康な子ども



保育の特色

豊かな心を育てます。

緑豊かな自然と広々とした敷地に囲まれ、子どもたちの心と体をのびのびと育む雲雀丘学園幼稚園。ここでは、子どもたちが友だちと楽しく遊び、貴重な体験ができるような保育を心がけています。様々な行事を通して、表現力やみんなで力を合わせることの喜びを味わいます。またサントレ教育^{*}、茶道、外国人教師による英語のレッスン、体育あそびなど特色ある保育を行っています。



※サントレ(科学的幼児教育)とは、良い姿勢を日頃から身につける瞑想の時間を入り口に、古今の美しい日本語に幼少期から親しむことで、子どもの秘めた力を引き出し、伸ばそうという新しい教育法です。

雲雀丘学園幼稚園施設案内

緑あふれる広々とした園庭。 豊かな自然が、保育室です。



保育室
フローリング、園児ロッカーなどには、ウイスキー樽として永年の役割を終えた樽材を再利用。



かいじゅう公園

園庭の奥にある緑に囲まれたかいじゅう公園には、さまざまな遊具施設を設置しています。



正門

子どもたちの安全を見守る正門には、監視カメラを設置。また、車が出入りするときは音楽で知らせます。

遊戯ホール

ひとときわ明るくて広々とした遊戯室。誕生会を行ったり室内サーキットにも使用します。



プール
幼稚園専用のプールです。浅いプール、深いプールに分かれています。

雲雀丘学園中山台幼稚園

教育方針

こんな子どもの実現を目指して。

心身ともに明るくがんばる子ども

集団の中で豊かに伸びる子ども

進んで何事にも取り組む子ども

保育の特色

自然との関わりを大切にしたのびのび保育をめざします。

この時期に思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が豊かになるといわれています。中山台幼稚園では、遊びを大切にした教育を行っています。豊かな自然の中で友だちや先生と夢中になって遊んだり、植物の観察を行ったり…。自然との関わりや子どもたちのアニミズム的心情をとても大切にしています。また、体育専門の指導者による体操あそび、外国人教師による英語のレッスンやお茶のお稽古、お泊まり保育など特色ある保育を行っています。



通園バスのロータリー
通園バスから雨に濡れることなく登降園できます。

雲雀丘学園中山台幼稚園施設案内

自然環境に恵まれたお山の幼稚園です。



玄関ホール
モダンなデザインでしつらえた木の香いっぱいの玄関ホール。



ホール（遊戯室）
自然のやさしさや温もりを醸し出す天然木をふんだんに使用した、明るく広々としたホール。舞台は茶室にもなり、子どもたちのお茶のお稽古にも使われます。



30歳のすべり台

下まですべった子どもたちが元気に登ってくる斜面（自然のアスレチック）は、一番人気の遊びのスポットです。



保育室
木々の香りいっぱいのさわやかな風が通り、太陽の光をたっぷりと取り入れた明るい保育室。



歴史と伝統に磨かれた最新の教育施設が、 緑の中に美しく調和しています。



学園記念講堂
平成11年2月竣工。固定座席900席の講堂です。入学式や卒業式など、さまざまな学校行事に使用されます。



学園記念講堂



文化館
視聴覚室や購買部などが設けられています。



告天舎
釘を使わない伝統工法（貫工法）で建てられた純木造の建造物。和室を兼ね備えた舞台を備え、研修会、交流の場の他、茶道、華道、箏曲・和楽器の演奏等にも活用できます。



夜間照明



学園グラウンド
学園敷地から専用地下通路で結ばれている第2グラウンド。野球やサッカーの練習場とテニスコート5面のほか、クラブハウスや夜間照明設備も完備しています。



テニスコート

子どもたちの安心・安全を最優先に考えています。

通学の安全対策もしっかり配慮。
雲雀丘学園には園児から高校生まで、最寄り駅である阪急宝塚線の雲雀丘花屋敷駅のホームから直接、学園内に入ることができる専用改札口と専用通路があります。また、正門には警備員が常駐して、部外者の出入りを監視しています。



耐震工事完成後

建物の耐震工事はすべて完了。
小学校の一部校舎と中高の体育館は、2008年秋に耐震工事を終え、これで全施設の建物の耐震工事は完了しました。



専用改札



専用通路



守衛室